



Title	研究会・シンポジウムの記録 [創刊号]
Author(s)	
Citation	臨床哲学. 1999, 1, p. 119-120
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/9172
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

臨床哲学研究会の記録

《研究会》

第1回(1995.10.25)

鷲田清一(大阪大学教授・倫理学):《苦しむ者》(homo patiens)としての人間)

第2回(1995.11.30)

中岡成文(大阪大学教授・倫理学):臨床哲学はどのようなフィールドで働けるか

入江幸男(大阪大学助教授・哲学):ボランティア・ネットワークと新しい人
権 概念の可能性

第3回(1996.4.25):フリー・ディスカッション

第4回(1996.5.17)

川本隆史(跡見学園女子大学教授・倫理学):関東大震災と日本の倫理学
——四つの症例研究

第5回(1996.5.30)

池川清子(北海道医療大学教授・看護学):看護 生きられる世界からの挑戦

第6回(1996.6.20)

堀一人(大阪府立刀根山高校教諭):「おかわりクラブ」の実験から
——職業選択から自己実現への道筋

第7回(1996.9.26)

鷲田清一・中岡成文:哲学臨床の可能性

第8回(1996.10.17)

小松和彦(大阪大学教授・文化人類学):「癒し」の民俗学的研究

第9回(1997.1.23)

荒木浩(大阪大学助教授・国文学):「心」の分節
——中世日本文学における書くことと癒し

第10回(1997.7.3)

鷲田清一:臨床哲学事始め

山口修(大阪大学教授・音楽学):音と身

第11回(1997.9.25)テーマ「看護の現場から」

伊藤悠子(芦原病院看護婦):Fever phobiaの克服に向けて
——Nightingale看護論に依拠した小児科外来における実践から

西川勝(PL病院看護師):臨床看護の現場から

第12回(1997.11.27)

小林 愛(奈良市社会福祉協議会 音楽療法推進室):音楽療法をめぐって

第13回(1998.7.2)

パネルディスカッション:「学校を考える 『不登校』という現象を通して」

提題者 栗田隆子 博士前期課程(臨床哲学)

寺田俊郎 博士後期課程(臨床哲学)

畑 英里 研究生(臨床哲学)

第13回(1998.9.24)

山田 潤氏(大阪府立今宮工業高校定時制教諭)

第14回(1998.12.12)

パネルディスカッション:

「学校の現在と不在－哲学の現場から＜不登校＞現象を考える」

提題者 栗田隆子 博士前期課程(臨床哲学)

寺田俊郎 博士後期課程(臨床哲学)

畑 英里 研究生(臨床哲学)

《公開シンポジウム》

第1回(1996.12.13) テーマ「哲学における 現場」

熊野純彦(東北大学助教授・倫理学): 死と所有をめぐって 臨床哲学 への途上で

古東哲明(広島大学教授・哲学): 臨床の現場 内と外との交差点

池田清彦(山梨大学教授・生物学): おまえのやっているのは哲学だ / おまえには
哲学がない

第2回(1997.2.21) テーマ「ケアの哲学的問題」

川本隆史(東北大学教授・倫理学): 生きにくさのケア フェミニスト・セラピー
を手がかりに

清水哲郎(東北大学教授・哲学): 緩和医療の現場 QOLと方針決定のプロセス

中野敏男(東京外国語大学教授・社会学): コメンテーター

第3回(1998.2.20)

第一部 テーマ1「女性におけるセルフをめぐって」

北川東子(東京大学): 孤立コンプレックス

吉澤夏子(日本女子大学): 親密な関係性

藤野寛(高崎経済大学): コメンテーター

霜田求(大阪大学): コーディネーター

第二部 テーマ2「国際結婚」

山口一郎(東洋大学): ドイツと日本のあいだで 日常としての文化差

嘉本伊都子(国際日本文化研究センター): 国際結婚とネーション・ビルディング

浜野研三(名古屋工業大学): コメンテーター

熊野純彦(東北大学): コメンテーター

田中朋弘(琉球大学): コーディネーター